ボーリング柱状図

調　査　名　平成28年度　三和橋橋梁架替測量・設計・地質調査業務

事業・工事名

ボーリングNo										

シートNo

ボーリング名	No.1	調査位置	青森県弘前市大字三和　地内					北緯	40° 43' 53.43"
発注機関	弘前市			調査期間	平成 28年 10月 24日 ～ 28年 10月 28日			東経	140° 24' 30.05"
調査業者名	株式会社　大成コンサル 電話（0172-33-2781）	主任技師	對馬　剛	現場代理人	齋藤　修次	コア鑑定者	齋藤　修次	ボーリング責任者	鳴海　博喜
孔口標高	H=12.53m	角度	180° 上 90° 下 0° 0°	方向	北 0° 270° 西 90° 東 180° 南	地盤勾配	鉛直 水平0° 90° 0°	使用機種	
総掘進長	30.14m								

試錐機	扶桑製　KR-100型	ハンマー落下用具	半自動型
エンジン	ヤンマー製　NFD-10型	ポンプ	扶桑製　V5-P型

標尺(m)	標高(m)	層厚(m)	深度(m)	柱状図	土質区分	色調	相対密度	相対稠度	記事
	12.23	0.30	0.30		シルト混じり砂	暗褐			全体に砂は細砂主体。 全体にシルト分を混入。 φ2～10mmの亜角～亜円礫と草根をわずかに混入。
1	10.83	1.40	1.70		砕石	灰	緩い		φ40mm以下。
2	9.73	1.10	2.80		砂混じりシルト	暗灰		軟らかい	全体に細砂を混入。 φ2～10mmの亜角～亜円礫をわずかに混入。
3	9.13	0.60	3.40		礫混じり砂	暗灰	緩い		全体に砂は細砂主体。 全体にφ2～20mmの亜角～亜円礫を混入。 φ2mm以下の石英をわずかに混入。
4	8.23	0.90	4.30		シルト混じり砂	暗褐灰	中位の		全体に砂は細砂主体。 全体にシルト分とφ2mm以下の石英および軽石を混入。
5									
6					シルト	褐		非常に軟らかい～中位の	全体に火山灰を混入。 全体にφ2～5mmの火山礫を混入。
7	5.03	3.20	7.50						
8					砂混じりシルト	褐灰～褐～暗緑灰		非常に軟らかい～中位の	全体に細砂を混入。 全体に火山灰をわずかに混入。 7.50～9.50m間にφ2～10mmの軽石を混入。 9.50～11.30m間は砂分少なくφ2mm程度の火山礫を混入。 11.30～13.60m間にφ2～10mmの軽石とφ10～30mmの固結した細砂を混入。
9									
10									
11									
12									
13	-1.12	6.15	13.65						
14	-1.54	0.42	14.07		砂礫	紫灰	非常に密な		全体に礫はφ2～30mmの亜角～亜円礫で構成され最大φ50mm程度。 マトリックスはシルト混じり砂で砂は細砂主体。 礫の混入割合：目視で80%程度。
15									
16	-3.52	1.98	16.05		安山岩	暗灰			堅固緻密な安山岩転石。 棒状コアで採取されハンマー打撃で金属音。
17					砂礫	紫灰～暗緑	非常に密な		全体に礫はφ2～30mmの亜角～亜円礫で構成され最大φ50mm程度。 マトリックスはシルト混じり砂で砂は細砂主体。 礫の混入割合：目視で70%程度。
18									
19	-6.47	2.95	19.00						
20	-7.97	1.50	20.50		礫混じり質砂シルト	黒褐～淡緑灰		硬い	全体に細砂を多く混入。 全体にφ2～10mmの亜角～亜円礫を混入。 19.00～19.25m間は有機質シルト。 19.40～19.50m間は砂質シルト。 19.75～19.90m間は有機質シルト。
21					礫混じり砂	暗灰	中位の～非常に密な		全体に砂は細砂主体。 全体にφ2～10mmの亜角～亜円礫とφ2～5mmの軽石を混入。 22.80～23.00m間にシルトを薄層状に挟む。
22									
23	-10.62	2.65	23.15						
24	-11.47	0.85	24.00		砂礫	紫灰	非常に密な		全体に礫はφ2～20mmの亜角～亜円礫で構成され最大φ40mm程度。 マトリックスは細砂主体。 23.60～23.80m間は玉石。 礫の混入割合：目視で70%程度。
25	-12.77	1.30	25.30		シルト質砂	暗緑灰～淡緑灰	密～非常に密な		全体に砂は細砂主体。 全体にシルト分を多く混入。 全体にφ2～20mmの軽石を混入。
26									
27	-15.17	2.40	27.70		礫混じりシルト質砂	暗灰	中位の		全体にシルト分を多く混入。 全体にφ2～30mmの亜角～亜円礫を混入。 所々未分解の有機物を混入。 27.10～27.30m間に赤褐色の礫混じりシルトを挟む。
28					細砂	暗緑	非常に密な		全体にφ2mm以下の石英を多く混入。 所々シルト分を混入。 所々固結した細砂を混入。
29									
30	-17.61	2.44	30.14						

孔内水位(m)／測定月日：10/24 3.00

標準貫入試験

深度(m)	10cmごとの打撃回数 0～10	10～20	20～30	打撃回数／貫入量(cm)	N値
1.15	3	3	3	9/30	9
1.45～2.15	1	1	1	3/30	3
2.45～3.15	4	3	3	10/30	10
3.45～4.15	7	5	2	14/30	14
4.45～5.15	1	1	1	3/30	3
5.45～6.15	1/35			1/35	1
6.50～7.15	1/35			1/35	1
7.50～8.15	1	2	1	4/30	4
8.45～9.15	1	2	2	5/30	5
9.45～10.15	1/35			1/35	1
10.50～11.15	1/20	1/15		2/35	2
11.50～12.15	1/20	1/15		2/35	2
12.50～13.15	1/15	1/15		2/30	2
13.45～14.05	50/2			50/2	750
14.07～15.00	貫入不能			50/0	
15.00～16.20	50			50/10	150
16.30～17.05	50/9			50/9	167
17.14～18.05	50/8			50/8	188
18.13～19.15	2	3	3	8/30	8
19.45～20.15	4	4	5	13/30	13
20.45～21.15	50/8			50/8	188
21.23～22.15	7	5	12	24/30	24
22.45～23.15	50/9			50/9	167
23.24～24.15	12	13	15	40/30	40
24.45～25.00	8	15	27/8	50/28	54
25.28～26.15	6	7	8	21/30	21
26.45～27.15	7	9	7	23/30	23
27.45～28.10	50/7			50/7	214
28.17～29.00	50/5			50/5	300
29.05～30.00	33	17/4		50/14	107
30.14					

原位置試験

深度(m)	試験名および結果

試料採取

深度(m)	試料番号	採取方法	室内試験（　）	掘進月日
6.00～6.80	T-1	Ⓣ	含水比 粒度 液性 塑性 湿潤 一軸	10/24
				10/25
				10/26
				10/27
				10/28